

2014年7月26日（土）

伊豆が岳（奥武藏 851m）

レポート by 熊本（写真：能勢、熊本）

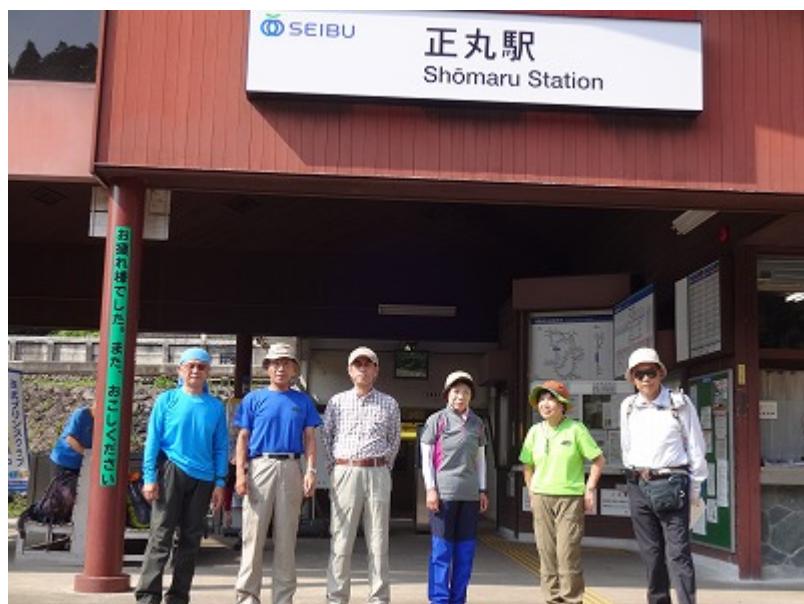
次週の岩手山の足慣らしとして計画した奥武藏の正丸駅から西吾野の休暇村「奥武藏」まで、約 14.5Km の縦走は、アップダウンの連続で北アルプス登山の訓練場としても知られているそうだ。

今回参加は小山さん、布目さん、根岸さん、高橋文さん、能勢さん、熊本の 6 名

梅雨明けした途端に猛暑日が連日続き、当日も 35 度を超える予想があり、最後まで体力が維持できるか？



西武池袋 7:05 発の長瀬行の快速急行に乗車は能勢さん、根岸さん、熊本 3 名、入間からは小山さん、布目さんが、そして八高線で東飯能から高橋文さんが乗車しこれで 6 名全員が揃った。



8 時 27 分に正丸駅に到着。

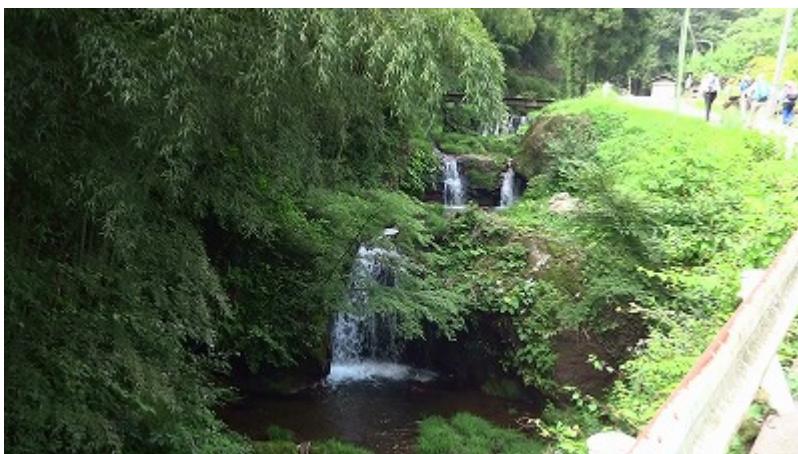
登山準備を整え駅前でスタートの集合写真を撮り 8:40 に出発。



改札を出て右折すると正丸峠、伊豆が岳への標識があり、階段を下る。



西武電車の下トンネルを抜ける。



高麗川の上流に沿って上がる。



駅から 10 分ほどで安産地蔵尊が現れる。

この渓流沿いには夏の花が各種咲いていた。







お休處を横目にみながら更に進む



出発して 30 分、正丸峠と大蔵山・伊豆が岳への分岐に来た。(9:10)

我々は大蔵山・伊豆が岳へのコース取り、ここから山道になる。

舗装道路を 30 分歩き既に汗でビッショリ。



この分岐には馬頭尊が祀られていた。



杉林の樹林帯に入る。



9:20 小さな橋「長岩橋」を渡ると徐々に傾斜がきつくなり、汗が額から、背中から滴り落ちる。



この辺りから、暑さに弱い布目さんが徐々に遅れ始める。



布目さんをおいて、他の 5 人は先に進む。
「かめ岩」に出るコースを止めて更に左側の直登で五輪山に出るコースを取る。



岩が露出した急俊な登山道になってきた。



更に進むと木の根が露出した急斜面で非常に滑りやすい「泣き坂」にきた。



泣き坂を登りきり尾根筋に出たが、
本道の伊豆が岳・正丸峠の尾根ではなかつた。ここで一息入れる。(9:48)



尾根を右折して 5 分程ほど登ると、本道（関東ふれあいの道）の尾根に出た。写真の右方向は正丸峠、左方向が、伊豆が岳である。



この尾根筋は岩の露出したところだが・・



この尾根からは奥武蔵、秩父方面への展望が良かった。
更に、ここから 10 分で五輪山に到着。
(10:12)



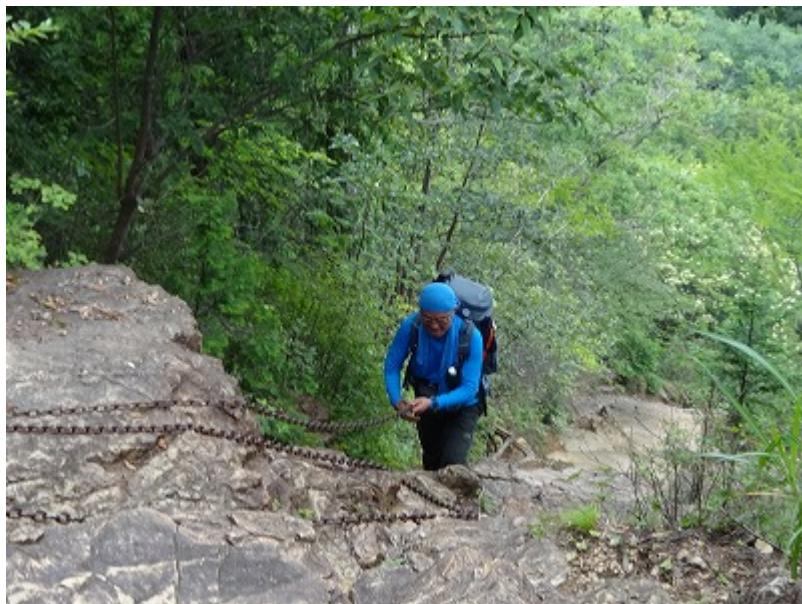
五輪山で一息いれ下ると、伊豆が岳山頂への「男坂（鎖場）」と「女坂」の分岐点。女坂コースの途中崩落して、更に巻道が出来ている。根岸さん、小山さんは巻道コース、能勢さん文さん熊本は鎖場コースに挑戦。



一段目の一枚岩の鎖場（12、3m）に能勢さんが取り付く。



続いて文さんが挑戦



二段目の一枚岩岩場（12、3m）をクリアした熊本。



4段目も難なくクリアーする能勢さん（左）、文さん（右）



10:40に伊豆が岳山頂（851m）に到着



布目さんが居ないのは残念だが、少々遅れて山頂を目指しているとの連絡が入った。

布目さんは伊豆が岳山頂をきわめたら正丸駅に戻り温泉に先に行っているとのこと。

我々はこの先がまだ長い道のりがあり、当初計画より10分程遅れていることもあり、布目さんを待たずに、先に進んだ。



伊豆が岳で写真を撮り、早速次のポイントへ向かう。



一端大きく下り、更に標高差 50m 近い急坂の登り返しがあり、結構シンドイ。



830m の古御岳（こみたけ）に到着。
(11:10)
蒸し暑く汗が止まらない。



正丸駅からまだ 5.5km で、この先は 9km
もあり、1/3 程度しか歩いていないこと
なり。

先が思いやられる。



古御岳（こみたけ）は更に 30 分程のアップダウンを経て、高畠山（695m）に到着（11:40）。やっと、ここで各々分散していけるベンチに座り、昼食タイム。昼食時間を取り戻す。



高畠山から下り標高差約 70m を 25 分で下り、12:28 に中ノ沢ノ頭（622m）に到着したが休憩せずに先へ進む。
歩き始めてから既に 4 時間近く掛かっているが、この辺りで距離的にはヤット中間点にきた。
まだまだ先が長い。

12:50 天目指峰（475m）の鞍部に到着した。
これから最後の難所である。
天目指峰（475m）から子の権現（640m）まで標高差 165m を登らねばならない。この暑さで 45 分の登りを予定していた。
登り始める前に、根岸さんが、足が吊ったと津村 69 を飲み少々遅れて出発。
更に 30 分程登ると、今度は小山さんが、足が吊ってしまった。
根岸さん、小山さんが遅れて我々を追いかける。
しかし
能勢さん、熊本も膝上の太ももの筋肉がパンパンになり、いつ吊ってもおかしくない状態であった。





何とか無事、13:55に「子の権現」に到着。



「子の権現」は足・腰の守護神であり、境内には、何トンもある世界最大の鉄わらじや高下駄が設置してある。



足腰守護の祈願参り



参道の仁王像



6月10日に開山式が行われ二つの巨木の間で箸立て式が行われたが、我々が訪れた27日（土）の二日前に落雷にあって黒焦げで無残な姿であった。

子の権現から、西吾野駅方向に下るルートに変更した（60分）。

14:20 下山開始

下山開始して、今度は能勢さんが足を吊つってしまった。



何とか足の吊りも納まり山道を下りきり国道299号に向かう。



目指す休暇村「奥武藏」に 15:25 に到着。



露天風呂で大汗を流しサッパリして、
良く冷えた缶ビールで乾杯！
皆様、お疲れ様でした。



吾野駅まで無料送迎バスで送ってもらった。電車がくるまでまだ、25分もあり、駅前の土産物屋で、地酒のワンカップ「武甲」を3個調達し、駅のホームで最後の尾一杯をやりました。ほんとのホームパーティーでした。



参加者の帰りは皆さんクマさん会の
Tシャツでお揃いでした。

猛暑の中で約7時間のアップダウンコースは非常にキツカッタが来週の東北ツア（早池峰山、岩手山）の足腰トレーニングとして良く頑張りました。

皆さん4本のペットボトルは全て空けてしまいました。岩手山では最低2リッターの飲料水は用意した方が良いでしょう。

皆様、猛暑のなかお疲れ様でした。